

**1. 略歴**

1977年3月	東京大学文学部言語学科卒業（文学士）
1979年3月	東京大学大学院人文科学研究科修士課程（言語学専攻）修了（文学修士）
1984年3月	東京大学大学院人文科学研究科博士課程（言語学専攻）単位取得退学
1984年4月	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助手
1989年7月	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助教授
1997年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授 併任
1998年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2001年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

**2. 主な研究活動****a 専門分野**

言語学、チュルク語学

**b 研究課題****(1) ユーラシア周辺部チュルク諸語の記述研究**

中国新疆ウイグル自治区南部のエイヌ語、中国甘粛省のサリグ・ヨグル語、そして、ドイツ・ベルリン市でトルコ系移民の話すトルコ語を主な対象とし、現地調査によって収集したデータによりながら、小規模な言語共同体が周囲の言語から導入した要素によって新たな用法を生み出す過程を明らかにする。

**(2) トルコ語の指示詞に関する研究**

トルコ語の3系列の指示詞が使われる語用論的条件を解明するため、共通の課題を与えられた話者による会話の音声と映像を、指示詞の用法と非言語的行動（ジェスチャーや視線の変化など）の関係に注目しつつ、分析する。

**c 主要業績****(1) 解説**

林 徹、「アジアにおけるラテン文字化：アラビア文字からラテン文字へ」、『世界の文字を楽しむ小事典』、134 - 140 頁、2011.11

林 徹、「文字改革：トルコの場合」、『世界の文字を楽しむ小事典』、172 - 177 頁、2011.11

林 徹、「国際音声記号 (IPA) は何を表しているか? : 文字で音を再現する試み」、『世界の文字を楽しむ小事典』、129 頁、2011.11

**(2) 学会発表**

国際、Tooru Hayasi、「Variability in linguistic judgment: an analysis of a questionnaire survey data on the usage of Turkish demonstratives carried out in Istanbul and Berlin」、15th International Conference on Turkish Linguistics、University of Szeged, Hungary、2010.8.21

国際、Tooru Hayasi、「Indigenous and foreign properties in copied constituents」、Societas Linguistica Europaea 43rd Annual Meeting、Vilnius University, Lithuania、2010.9.3

国際、Tooru Hayasi、「How different is Turkish spoken in Berlin from its 'standard' variety of Istanbul? : an analysis of a questionnaire survey on linguistic judgment of adolescents living in the two cities」、Second International Symposium of Tokyo Academic Forum on Immigrant Languages、University of Tokyo, Komaba, Tokyo、2012.2.10

**(3) 共同研究・受託研究**

共同研究、林 徹、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、「ダイクシス表現の多様性に関する研究」、2010～2011.

### 3. 主な社会活動

#### (1) 他機関での講義等

非常勤講師、日本大学文理学部、「言語学」、2010.4～2010.9

非常勤講師、日本大学文理学部、「言語学」、2011.4～2011.9

非常勤講師、京都大学文学部、「チュルク諸語研究入門」(集中)、2011.9

#### (2) 学会等

日本言語学会 評議員

日本言語学会 会計監査委員 2009.4～2012.3

日本言語学会 編集委員長 2012.4～

日本学術会議 特任連携会員 2010.11～

日本学術会議 連携会員 2012.4～